
ヘルスアセスメント

岩根 直美 准教授

坂本 由希子 准教授

野々口 陽子 助教

米島 望 助教

1年次後期・必修

1単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、対象者の健康状態をアセスメントするための基礎的知識・技術・態度を学習する。対象者の健康状態を主観的・客観的の双方で捉え、全身状態を把握する視点を理解する。また、事例患者へのフィジカルアセスメントを通して、病態やそれに伴う症状・状態を理解する。さらに、ヘルスアセスメント技術の習得に向けてさまざまな演習を行い、実践に必要な態度を理解する。

【到達目標】

- 1) ヘルスアセスメントの意義が説明できる。
 - 2) 対象者の健康状態をアセスメントするための系統的な全身の見方がわかる。
 - 3) 問診、視診、触診、聴診、打診を用いて必要な身体情報を得る方法がわかる。
 - 4) 測定器具を用いた身体各部の計測方法がわかる。
 - 5) フィジカルアセスメントで得た情報の意味が説明できる。
 - 6) 事例患者のフィジカルアセスメントの方法が説明できる。
 - 7) ヘルスアセスメントに必要な態度が説明できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ヘルスアセスメントとは
 - 2)～6) バイタルサインズのアセスメント（講義・演習）
 - 7)～9) フィジカルアセスメントテクニック（講義・演習）
 - ・全身の系統的な見方 [問診、視診、触診、聴診、打診]
 - ・身体各部の計測
 - 10)～12) 事例患者のフィジカルアセスメント（講義・演習）
 - 13)～14) 食事・栄養・排泄のアセスメント
 - 15) まとめ
-

【評価】

筆記試験（80%）、出席状況および参加態度など（20%）

【教科書】

深井喜代子編集：新体系看護学全書 基礎看護学② 「基礎看護技術Ⅰ」第6版 メヂカルフレンド社

医療情報科学研究所編集：看護がみえる vol.3 「フィジカルアセスメント」第1版 メディックメディア

【推薦参考図書】

必要であれば講義の中で提示する。

【その他】